

2013年度第4回執行理事会議事録

期 日：2013年9月13日（金）12:30～14:00

場 所：仙台市戦災復興記念館

出席者：石渡会長 ウォリス副会長 渡部副会長（石渡会長） 齋藤常務理事 伊藤 井龍 坂口 高木 内藤 中澤 平田 保柳 星 山口 山本 松田理事会議長（事務局） 橋辺

欠席者（委任状提出，未記入議場委任）：松田 山路 西（委任なし）

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者15名，委任状2名，合計17名の出席。

*前回議事録の確認

I 審議事項

1. 文科省科学技術・学術審議会測地学分科会より「災害軽減に貢献するための地震火山観測研究計画の推進について（中間まとめ）」の意見照会について（文科省下記URL参照）

http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASS_NAME=PCMMSTDETAIL&id=185000653&Mode=0

全ての専門部会を通じて議論し，執行理事会で取りまとめる。

2. 東レ科学技術研究助成の公募にたいする推薦：1件の推薦申請あり。推薦文字句の小修整で承認された。

3. 地感連合の環境災害対応委員会の災害担当委員の推薦について

応用地質部会から，横山俊治会員に代わる委員として川畑大作会員（産総研）の推薦があり，承認された。

4. 次回（2014年）以降の地質情報展について（星理事）

産総研から開催時期その他についての検討打診があったが，情報展の今後のあり方も含めて産総研の検討，をまつこととした。

5. 超地球史年表（著者：清川）を出版する件（齋藤理事）

出版社を通して出版することを検討し，地質学会は監修として関与する方向で進んでいることが報告され，承認された。企画出版の担当業務であるが出版社との交渉は当面齋藤常務理事があたる。

6. 2014年度の総会開催日程について

例年の代議員総会は，日本地球惑星科学連合大会の期間に合わせて開催していたが，来年度の連合大会は4月28日～5月2日に横浜で開催される。会計監査の都合上，この日程で代議員総会を開催するのは困難であり，早急に日程を調整する。

7. 理事会審議事項の確認

II 報告事項

(1) 全体的報告

1. 地質・地盤情報活用促進に関する法整備推進協議会（齋藤常務・中澤理事）

地質地盤情報活用検討委員会第2回が開催され，小嶋理事に代わり中澤理事が出席した報告がなされた。地盤情報活用のための緊急提言，を出すことになった，ボーリングデータの活用等の広報資料を準備中。期成会によるプロモーション活動も検討中など。

2. 理事会メール審議確認：全理事の承諾確認

1) 学術大会講演申込異議申し立てに関する処理機構規則の改正

2) 選挙管理委員会ならびに立会人の選出

・選挙管理委員会：7/17委員会を開催，互選により委員長は，阿部なつ江会員を選出。代議員選挙告示：News誌9月号に掲載

・選挙立会人：高橋 聡（東大），巖谷敏光（産総研）

3. 地球惑星科学参照基準（案）に関するパブリックコメントは会長の取りまとめにより

7/14学術会議大学教育問題分科会，西山委員長に提出した。

4. 地学オリンピック日本委員会より予選問題の作題委員の推薦依頼があり，地学オリンピック支援委員会の協力により委員を推薦した。

5. 上町断層保存問題のその後

・一般市民から非常に残念との感想，投稿あり：現地は完全に整地され，豊中百景からも削除されているとのこと。

(2) 運営財政部会：総務委員会（西・山本）

<共催・後援依頼，他団体の募集等>

1. 山陰海岸ジオパーク国際学術会議「城崎会議」（10/26-27）の後援依頼←承諾

2. 第14回子供のためのジオカーニバル，後援依頼11/2-3，大阪市立科学館→承諾

3. 笹川財団平成26年度笹川科学研究助成募集案内（10/1-10/15募集，学会8/30締め）→HP，geo-flash，News誌に掲載

4. 尾瀬保護財団より第17回尾瀬賞の募集を9/30まで延期→HP，geo-flash掲載

5. H25年度山田科学財団研究助成に推薦した2件は残念ながら不採択であった。

6. JSE2013応募要項

<その他>

1. 東京大学海洋研究所より，平成26年度の共同利用研究として，学術研究船「白鳳丸」ならびに東北海洋生態系調査研究船「新青丸」の公募。

2. 京都賞（稲盛財団）の会長への授賞式案内（11/11）→会長欠席（代理不可）

3. 全国地質調査業協会50周年記念案内（10/25）：出

欠10/1まで→渡部副会長出席

4. 地学団体研究会より声明「原発を即時廃止し原発ゼロ社会の実現を求める」の発信
5. 挨拶状：地盤工学会(会長；末岡 徹)
6. 第16回水環境学会シンポジウム(沖縄11/9-11)
案内←カレンダー掲載

<会員>

1. 今月の入会者(1社, 18名)
賛助会員(1社): NPO法人日本防災環境
正会員(3名): 生田正文, 入谷 剛, 天野英樹
正(院割)会員(6名): 山田昌樹, 渡邊紘記, 葉田
野希, 滝川雅大, 山内紘一, 阿部紫織
正[学部割]会員(9名): 村岡英樹, 品田拓真, 竹
本真佑里, 有元 純, 細萱航平, 渡邊絵美, 有留千
博, 兼子義高, 丑館紗綾
2. 今月の退会者(1名)
正会員(1名): 玉置真知子
3. 今月の逝去者(名誉1名, 正1名)
名誉会員: 垣見俊弘(2013/7/1)
正会員: 小池一之(2013/8/23)
4. 2013年8月末日会員数
賛助: 26 名誉: 68 正会員: 3785(正会員: 3685,
正(院割)会員: 189, 正(学部割)会員: 11 合計
3979(昨年比 -99)

<会計>

特になし

(3) 広報部会：広報委員会(内藤・松田)

- ・文科省, 一家に1枚ポスターへの応募「自然災害一正しく知り正しく恐れる」は, コンセプトは理解されたが, 不採択であった. 来年度再挑戦する.
- ・大会前プレスリリースを実施した.

(4) 学術研究部会：行事委員会(星)

- ・大会の緊急展示の講演要旨も通常発表と同様にJ-stageに上げる. またコアタイムでの口頭説明も実施する.
- ・仙台大会からシンポジセッションハイライトや英語版プログラムなど作成. 巡検12コース実施見込み.
- ・鹿児島大会: 巡検コースと案内書準備中

(5) 学術研究部会：国際交流委員会(井龍)

- ・ロンドン地質学会との交流協定は8月8日付にて最終的に取り交わす手続きを行った.
- ・大韓地質学会からの招待に対し, 最終的な調整を行った

(6) 編集出版部会：地質学雑誌編集委員会(山路)

- 1) 編集状況報告(9月9日現在).
 - ・2013年度投稿論文 総数54編[論説26(和文25 英文1)・総説2(和文2)・報告5(和文5)・ノート1(和文1)・口絵7(和文6, 英文1)・巡検案内書12] 査読中23編受理済み5編
 - ・119巻8月号: 特集号「三次元地質モデル研究の展開に向けて」(世話人: 木村克己ほか)(91頁・発行済み)

行済み)

- ・118巻9月号: 総説1, 論説2, 報告1, 口絵1(計約60頁 校正中)
 - 2) 特集号「ジュラ系+」の10年(世話人: 松岡 篤, 近藤康生, 小松俊文, 石田直人, 中田健太郎) 投稿受付中(総ページ数76予定)
 - 3) J-STAGEによる投稿審査システムは現在無料で利用しているが, 今後(平成26年度)は会員数に応じて一部負担(2割)で有料化の見込み, 当学会の場合は年間15万円程度.
- (7) 編集出版部会：Island Arc編集委員会(伊藤)**
- ・ページ数, 特集号の打診も増えつつある.
 - ・古環境, 古生物等幅広い分野の論文も増えつつある.
- (8) 編集出版部会：企画出版委員会(山口・保柳)**
- ・電子出版物「地学を楽しく」についてアマゾンキンドルブックストアでの刊行準備中. パソコン用よりキンドル版を先行して進める.
 - ・富士山・青木ヶ原たんけんマップを校閲し, 著者に戻し中. 刊行承認は著者修正が戻った時点で判断, メール審議もしくは次回理事会に諮ることとしたい.
 - ・地球史年表は査読2名のうち1名終了.
 - ・長瀬探検マップ 進行中.
 - ・三浦半島探検マップ 進行中.
- (9) 社会貢献部会(高木・平田・中澤・保柳)**
- ・11月の地質調査研修会実施にあたり, 産総研地質調査総合センターに共催を依頼した.
 - ・現在研修会参加者を募集中.
- (10) ジオパーク支援委員会(高木)**
- ・9月24日に開催されるジオパーク委員会において, 今年度のJGN申請10地域の認定の可否とGGN申請4地域の推薦(最大2地域)の可否が決定される.
 - ・韓国のチェジュ島で開催中の第3回アジア太平洋ジオパーク大会において, 昨年保留となっていた隠岐ジオパークの世界ジオパークネットワーク(GGN)への加盟が認定された. また, 洞爺湖有珠山, 糸魚川, 島原半島も, 4年目の再審査を経て再認定された. これで日本の世界ジオパークは6地域となった. 順調に整備されてきている.
- (11) 地学オリンピック支援委員会(平田)**
- ・仙台大会「小さなScientistsの集い」にて地学オリンピックポスター掲示.
- (12) 震災復興事業プラン検討WG(高木・西・藤本・斎藤)**
- ・二年間で7件の復興事業が実施された. ことをCCOPにて発表する.
- (13) 連携事業委員会(保柳)**
- 特になし
- (14) 支部長連絡会議(渡部)**
- ・仙台大会の15日に支部長連絡会議を開催.

(15) 地質災害委員会 (斎藤)

- ・ 7/28発生の山口・島根豪雨災害に対して「山口・島根豪雨地質災害調査団」(坂口・川村両会員その他山口大関係者)を承認。学会主導の調査団とした。同調査団は仙台大会で緊急展示を行うこととなった。

(16) 地質技術者教育委員会 (山本)

- ・ 仙台大会の15日に委員会を開催。

2013年10月12日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長 (代表理事) 石渡 明
署名人 執行理事 斎藤 眞